

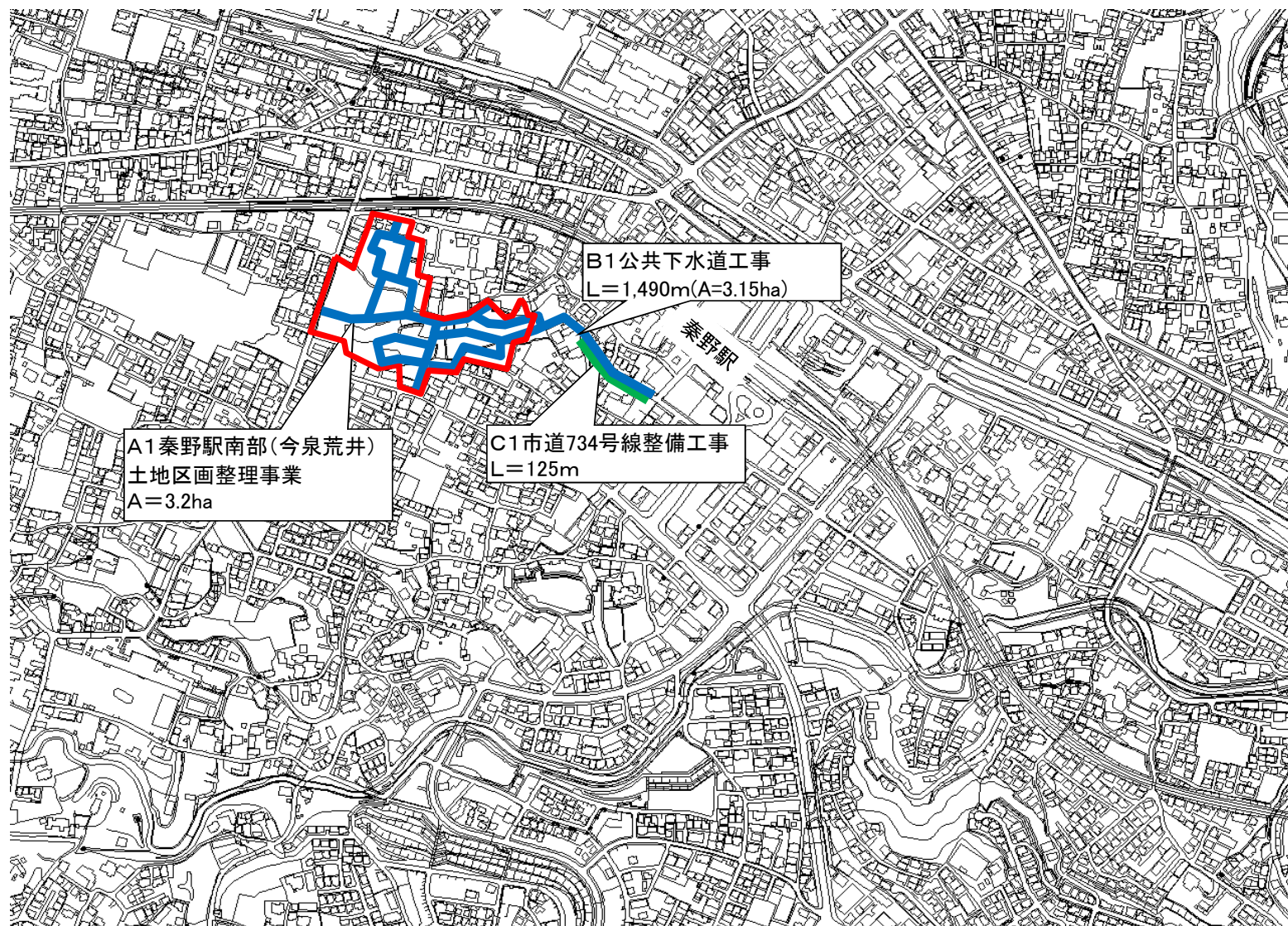
社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成25年1月30日

計画の名称	1 秦野駅周辺地区の良好な市街地を形成するための都市基盤整備														
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）				交付対象	秦野市									
計画の目標	<p>本地区は、秦野駅直近の地区にも関わらず無秩序な土地利用が行われていることから、都市基盤整備の推進を図り、健全な市街地と住み良い住環境を形成する。また、地区内には名水百選に選定されている秦野盆地湧水群の一つが存在していることから、湧水の保全を考慮した都市基盤整備を行う。</p>														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市基盤（道路・公共下水道）が整備された宅地の割合を0%（H24）から100%（H27）に増加。</li> <li>荒井湧水を訪れる人を0人/日（H24）から100人/日（H27）に増加。</li> <li>秦野駅南部（今泉地区）土地区画整理事業区域内の消防車が円滑に消化活動できる宅地率を38.1%（H24）から89.3%（H27）に増加。</li> </ul>														
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考				
都市施設が整備されている宅地の割合								当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26)	最終目標値 (H27末)					
(都市施設整備済宅地率) = (4m以上の道路への接道及び公共下水道が整備されている宅地の面積) / (区域内宅地面積)								0%	-	100%					
荒井湧水を訪れる人数を調査する。								当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26)	最終目標値 (H27末)					
荒井湧水を1日に訪れる人数								0人/日	-	100人/日					
消防車で円滑に消化活動できる宅地率								当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26)	最終目標値 (H27末)					
(消防車で円滑に消化活動できる宅地率) = (消防車が円滑に通行できる道路に面する宅地面積) / (都市計画決定区域内全宅地面積)								38.1%	-	89.3%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	720百万円	A	460百万円	B	120百万円	C	140百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.4%					
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都再区画	一般	秦野市	間接	土地区画整理組合	秦野市秦野駅南部（今泉荒井）土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=3.2ha	秦野市						460	
合計											460				
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-B-1	下水道	一般	秦野市	直接	秦野市	公共下水道整備工事	公共下水道（汚水・雨水） L=1,490m(A=3.15ha)	秦野市						120	
合計											120				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-B-1	土地区画整理区域及び下流の下水道を一体で整備することにより、土地区画整理区域内の公共下水道が供用できる														
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	道路	一般	秦野市	直接	秦野市	市道734号線整備事業	L = 126m	秦野市						140	
合計											140				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	都市計画道路秦野駅連絡線から土地区画整理事業区域へ幹線区画道路を整備することにより、区画整理区域内の宅地の利便性が向上する。														

# 市街地整備

計画の名称	1 秦野駅周辺地区の良好な市街地を形成するための都市基盤整備	交付対象	秦野市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)		



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(市街地整備)

計画の名称：秦野駅周辺地区の良好な市街地を形成するための都市基盤整備

市町村名：神奈川県 秦野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
⑤事業実施にあたり、民間活力の活用等が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○